

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県倉敷スポーツ公園
施設所在地	岡山県倉敷市中庄3250-1

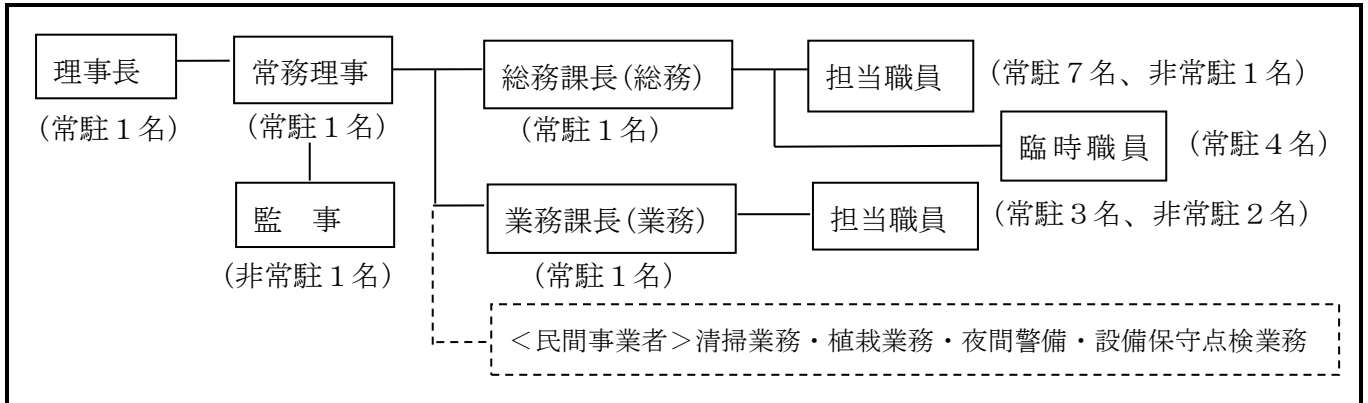
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人倉敷スポーツ公園	代表者	理事長 佐藤 昌之
所在地	岡山県倉敷市中庄3250-1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	- 倉敷スポーツ公園の施設の利用等の許可に関する事。 - 倉敷スポーツ公園の施設及び設備の維持管理に関する事。 - 倉敷スポーツ公園の運営に関する事。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		野球場（補助含）	テニスコート	その他	合 計
許可件数	7年度	316	12,103	10,206	22,625
	6年度	365	12,300	8,497	21,162
	増 減	△49	△197	1,709	1,463

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務 ・警備業務 ・植栽管理業務等
公園使用許可業務	許可件数 22,625件
自主企画事業	スポーツ教室延べ42コースを開催 テニス大会や他団体と共催し野球教室や車いすテニス大会を開催

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、人)

	野球場（補助含）	テニスコート	その他	合 計
収 入 額	30,087,655	22,787,895	42,287,934	95,163,484
利用者数	168,117	68,657	98,263	335,037
減 免 額	761,135	736,960	29,778,949	31,277,044
減免理由	身体障害者、高等学校以下の学校が組織する団体が主催し、スポーツ振興のために使用する場合など。			

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		312,021,580	△7,501,029	319,522,609	7 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 14,230,000円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 県委託修繕費 26,564,000円
内 訳	指定管理料	159,391,000	7,931,000	151,460,000	
	利用料金収入	95,163,484	△304,369	95,467,853	
	事業収入	6,343,830	271,170	6,072,660	
	その他	51,123,266	△15,398,830	66,522,096	
支 出 額 B		312,021,580	△7,501,029	319,522,609	7 年度支出額 ・その他の主なもの 施設修繕費 26,597,440円 県への納入金 (①+②+③) ①外部委託に係る剰余金の1/2 16,720円 ②管理運営費等に係る剰余金の1/2 0円 ③修繕費の残額 0円 計 16,720円
内 訳	人件費	100,679,725	3,789,864	96,889,861	
	管理運営費	181,724,672	△648,583	182,373,255	
	事業費	3,019,743	△44,370	3,064,113	
	その他	26,597,440	△10,597,940	37,195,380	
収 支 額 A－B		0	0	0	
県への納入金		16,720	△79,530	96,250	
実質的な県負担額		171,999,871	△10,470,066	182,469,937	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	安全管理マニュアルが整備され、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損、備品の紛失はなく、修繕は適切に実施され、適切な管理が履行されていた。
導入効果	① 利用状況	B	9 月から 2 月はマスカットスタジアムの天然芝更新工事の影響により利用者が前年度を下回ったが、それ以外の期間については例年並みの水準を維持した。 【利用者数】 R7：191,961 人 ←R6：192,065 人 【観客数】 R7：143,076 人 ←R6：159,881 人
	②収支状況	B	事務室等の照明器具のLED化による電気使用量の抑制、園内清掃や小規模修繕はできる限り財団職員が行うなど、経費節減に努めていた。
	③サービス向上	B	デジタルサイネージや各種スポーツ教室のネット予約受付の活用、トレーニングジムの利用料金を値下げするなど、利用者の利便性の向上を図っていた。
管理運営業務全般		B	物価の高騰により厳しい状況が続いているが、経費削減等に取り組んでおり、管理運営において適切な対応を行っていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。